

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

イースターも終わり、人事異動や、委員会の体制変更など、年度の引継ぎでバタバタしている今日この頃、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。釜石でも“こいのぼり”プロジェクトが、そろそろ実施時期にきております。また、新しいプログラムも始まります。これからも、どうぞみなさんのお力をお貸しください。

【GFS 釜石プログラム】

東京教区 GFS との協働プログラムとなりますが、北海道教区 GFS から 4 名（植松三千代さん・向井哲子さん・溝尾澄子さん・山岡みゆきさん）が参加します。4 月 23 日～26 日までの期間で釜石に滞在されます。どうぞお祈りのうちにおぼえてください。

【ボランティア・ハンドブック & 中間報告】

4 月 8 日（イースター）付けで、北海道教区震災支援室の“中間報告”と“ボランティア・ハンドブック”が発行されました。予告していながら、大変遅くなりましたことをお詫び申し上げます。中間報告は、信徒の方全員に行きわたるよう各教会にお送りしています。ご一読ください。また“ボランティア・ハンドブック”は、釜石という町の紹介や、支援室に関わる Q&A など、普通に関わるだけではなかなか分かりづらい情報も、まとめてあります。今までボランティアに行かれた方にとっても新たな発見があると思います。ぜひ一度目を通していただけますと幸いです。これからの 1 年間も北海道教区は釜石への支援を続けてまいります。どうぞみなさんのご協力をお願いいたします。

【東日本大震災支援活動 第 2 次募金のお願い】

中間報告やボランティア・ハンドブックと同時に、第 2 次募金のお願いをしております。北海道教区からは既に 100 名近いボランティアが釜石に派遣されています。昨年の教区会決議に基づき、“善きサマリヤ人活動資金”からも応援いただいておりますが、今後 1 年以上支援を継続していくには十分ではありません。どうぞ、みなさまにも、ご理解をいただき、募金を改めて実施して下さるよう、お願い申し上げます。詳しくは、発行されている“東日本大震災支援活動 第 2 次募金のお願い”をご参照ください。

【釜石での働き】

※ 震災支援室ブログ（海老原さん・向井さん発信）より抜粋

4 月 11 日

本日は釜石神愛幼児学園のイースター礼拝でした。釜天（釜石の天使）たちの関心は祭壇の上にあるイースターエッグ。ちゃんとちび釜天でもイースターの日には卵がもらえることを覚えています。素晴らしい。

午後は資料用の書籍を求めに花巻まで行ってきました。ちょっとした本を探すにもそこまで行かなくてはなりません。釜石や遠野には小さな書店しかありません。

今日探してきたのは、高齢者向けの体操とレクリエーションの本。仮設談話室のプログラム用です。高齢者の多い仮設では身体を動かすプログラムのニーズが高い傾向にあります。特に冬の間は外出機会が減り、運動不足になりがちです。ですから体操です。また介護予防という視点もあります。このようなプログラムを担ってくださる方もいるので今週はその準備です。お担いくださる方は近日発表です。もちろんあのお方です。

センターは鶴飼さん八幡さんがお守りくださいました。黒澤さんは午前は私と幼児学園、午後はセンター業務。向井さんはセンターと映画会の準備など。八幡さんは今日も懸案だった門扉の修繕を完了してくださいました。これはお隣にもご迷惑をお掛けしていた箇所、本当になおってよかったです。感謝。

4 月 13 日

本日は大畑の仮設と甲子の仮設で足湯&お茶っこサロンの日です。向井さん・八幡さん・黒澤さん・それに到着早々の一花さんが行ってくださいました。本日もなごやかなサロンになったようです。甲子の仮設ではまだまだ住民同士の新たな出会いがあるそうです。つながりが増えていけばいいですね。

私は打ち合わせの日でした。午前は甲子の仮設のお花見会の打つあわせ、また違う仮設の鯉のぼりの打ちあわせ。午後は新プログラムの打ち合わせ、五月人形の打ち合わせ、それから一花さんをお連れして視察ツアー敢行。という感じでした。視察はいつものパターンで釜石湾、両石、鶴住居、大槌町それから最後に神愛教会と幼児学園の訪問です。

新プログラムの打ち合わせは実り多いものになりました。高齢者の多い仮設で実施しますが、地元のボランティア二名が担ってくださいます。お二人とも介護と看護のプロです。そのような地元の専門職の方が与えられた

ことは大いなる喜びです。素晴らしいプログラムがはじまる予感がしています。楽しみです。いずれは地物の者同士で支えあうことが求められています。いまからその道筋を整えることはとても重要なのです。

4月16日

月曜日です。上中島仮設での談話室プログラムの日です。4月からプログラムの変更なのですが、足湯の人気やこちらの準備不足もあって難航していました。でも本日やっと変更の第一歩です。いままで足湯のボランティアとして参加してくださったハルママさんにご友人のSさんによる体操プログラムが半分スタートしました。お二人とも看護と介護のプロ。お見事でした。参加者の反応もよく、おそらく上中島仮設の平均寿命は確実に伸びるでしょう。やはりプロの仕事は違います。みなさんご苦労さまでした。また足湯を提供した横浜教区の高田先生・大居先生・向井さんお疲れさまでした。

4月17日

本日は座布団プロジェクトの予約取りを行いました。ようやく予約取りです。わかるかな、わからないだろうな。

今回はいつもより多い140枚ぐらいが大館でつくられました。純粋に数だけの話しをすれば、ちょっと微妙な枚数です。100世帯を超す大きな仮設では足りない数だし、70世帯から80世帯が適量なのですが、ちょうどいい数の仮設がありません。ですから今回は30世帯前後の仮設をいっぺんに2つか3つこうと思います。それで今日は野田中央公園仮設で予約をとりました。世帯数は30ちょっと。談話室がまだない仮設ですが、先日も飴を配布して戸別訪問をしたばかりの仮設です。だいたい我々の顔も認知され、きょうもいい交流がたくさん行われました。またお茶をご馳走になったり、お花の苗をプレゼントしたり、楽しい訪問になりました。高田先生・永井さん・八幡さん、ご苦労さまでした。

センターは大居先生と今朝到着した頼さんが担当。今日もまた新しい方がお訪ねくださいました。みなさまご苦労さまでした。

【チラシ印刷のお手伝いのお願い】

釜石支援センターでは、仮設住宅を訪問する際（特に初めての時など）に、支援センターのチラシを作ってお配りしています。きれいなチラシです。支援センターで印刷して使っていたのですが、大量に必要になるときもあり、また忙しさのあまり、事務作業がどうしても後回しになってしまいます。そこで、そんなに大量でなくてもかまいませんので、チラシを印刷して、釜石へ発送してくださる方を募集いたします。チラシはWORDで作成したA4のものです（カラー）。ご自宅のプリンターで印刷し、支援センターに適宜発送していただけると幸いです。お手伝いいただける方は、ファイルをメールにて送りますので支援室広報担当・吉野暁生執事まで連絡をお願いします。

【こいのぼり提供のお願い】

震災より1年が経ち、仮設住宅での生活もようやく落ち着いてきました。釜石支援センターがメインで関わっている上中島仮設の自治会よりの依頼で“こいのぼり”を集めています。上中島仮設は高齢者と共に、小さい子どものいる世帯の多い仮設住宅です。その前にある広場スペースに植えてある木を利用して、こいのぼりをたくさん、広場を横切るような形で飾ろう！ という計画が持ち上がっています。できればたくさんのこいのぼりを仮設住宅の前になびかせたい、と願っております。こいのぼりは4月27日(金)には飾る予定です。それまでに送っていただけるよう、お願いいたします。(27日以降になる場合は、釜石支援センターと打ち合わせの上、送るか送らないかを決めていただけるよう、お願いいたします。予告無しに27日以降に決して送らないでください。)

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

- ◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下されると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。
- ◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】

電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp